

今日は2011年の東日本大震災からちょうど7年になります。震災ならびに原発事故に直接・間接的に関係された方々には何と申し上げてよいものか言葉が見つかりませんが、今日のこの日を皆で記憶したいと思います。私自身、昨年10月に宮城の太平洋沿岸を何度目かに訪問し、巨大な防潮堤の建設現場や住人の居なくなった仮設住宅を拝見し、あらためて災害に対する行政や住民の対策について考えさせられました。なかでも、フクシマの原発事故は「想定可能であるが想定外の事故」という意味で、我々のような自然エネルギーに関係するNGOにとっては、まさに“Wake up call”でした。いまだ、津波被害や原発事故による過疎化の加速化に対して、団体ならびに個人として何らアクションを起せていないことに対して、非常に大きな恥ずかしさを感じています。とはいえ、自身にとっては1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災が震災としては初めての体験であり、あらためて日本列島が震災列島であることを考えさせられました。このような日ではありますが、明日に希望をつなぐという意味でも、今月のニュースを配信します。

1. 木質バイオマス関連情報

■沖縄県石垣市、メタン発酵後に出る有機液肥を使って農産物を栽培。同市は2015年3月からし尿処理施設内で小型メタン発酵テストプラントを稼働。観光客増加に伴うごみ処理量の増加、し尿・浄化槽汚泥の処分費用の増加、家畜排せつ物の増加などを受け、バイオマス資源として利活用し、メタン発酵後の有機液肥を化学肥料の代わりに使う農作物の実証栽培を進めている。水稻では化学肥料と同程度の収量・品質が確保できることを確認。ゴーヤ、カボチャについても栽培実験を続けており、18年度からは生ごみ回収から液肥利用作物の提供・使用を行う「小さな循環」を始める考え【八重山毎日新聞：2018/02/10】

<http://www.y-mainichi.co.jp/news/32998/&ct=ga>

■鹿児島県、2018年1月29日にエコホテルソラ（鹿児島県屋久島町）のCO₂排出削減量（16t-CO₂）を認証したと発表。エコホテルソラは（有）キクナガ観光（鹿児島）が2013年4月に開業したホテルで、給湯施設の熱源として屋久島島内で生産された間伐材を有効活用する薪ボイラを導入し、CO₂の排出削減による地球温暖化防止対策に取り組んでいる。同ホテルは2013年に20t-CO₂、2016年に15t-CO₂認証を受けており、今回は3件目。合計51t-CO₂認証を受けたことになる。木質バイオマスボイラの定格出力は111kW/h【環境展望台：2018/02/14】

<http://tenbou.nies.go.jp/news/jnews/detail.php?i=23495>

■福島県、2月16日開催の県再生可能エネルギー導入推進連絡会で、2016年度までの再生可能エネルギー種別導入実績を公表。再生エネの導入量は県の指針「再生可能エネルギー先駆けの地アクションプラン」などを定めた震災以降増加。2016年度は1,391MW（うち太陽光925MW、バイオマス209MW、風力174MW、地熱65MW、小水力17MW）で前年度より167MW増え、5年間で約千MWの増加となった。導入割合では28.2%で前年度より0.9ポイント上昇。2018年度に30%を達成する目標を掲げている県は「順調に推移している」と分析。2040年頃を目標とする100%導入に向け、引き続き経費補助などの支援に力を入れる【福島民友：2018/02/17】

<http://www.minyu-net.com/news/news/FM20180217-244916.php>

■地球温暖化が今のペースで進めば、2040年代には世界の平均気温が1.5℃上昇し、自然災害や生態系破壊などのリスクが深刻に。国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の特別報告書の素案によると、1.5℃に抑えるには「今世紀半ばごろに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする必要がある」とし、各国の今の削減目標では不可能だと指摘【東京新聞：2018/02/17】

<http://www.tokyo-np.co.jp/s/article/2018021601002205.html>

■富士開拓農業協同組合（静岡県富士宮市）と富士宮市等が実

証実験を予定する施設「富士山朝霧バイオマスプラント」(同市)が完成し、2月17日に完成式。プラントは環境省の「環境調和型バイオマス資源活用モデル事業」の一環として全額を国が負担して建設。家畜の排泄物を20t/日受け入れて発酵させ、生成したガスで発電を行う。施設は24時間稼働し、1,200kWh/日の電力量を産出する予定。一般的なバイオマス発電ではメタン発酵で生じる消化液を液肥として牧草地や畑に散布していたが、近年は地下水汚染が指摘されることも多いため、液肥としての活用を模索するものの、余剰分は市内の下水処理施設に送る。プラントで発電した電力や熱を下水処理施設に供給することで循環型社会の実現を図る。施設は2月中にも運転を始め、実証実験は2019年3月まで行う予定【中日新聞:2018/02/19、環境省:2018/02/13】

<http://www.chunichi.co.jp/article/shizuoka/20180219/CK2018021902000046.html>

<http://www.env.go.jp/press/105132.html>

■岡山県真庭市、4月1日から真庭バイオマス発電所で発電した電気の一部を購入し、市内小・中学校など計42施設で利用する方針を明らかに。これまで市役所本庁舎と文化施設だけだったが、対象を拡大する【山陽新聞:2018/02/20】

<http://www.sanyonews.jp/article/671633>

■韓国政府の職員らが2月20日、岡山県真庭市の木質バイオマス発電所や新建材CLT(直交集成板)工場などを訪れ、地域資源を活用した活性化策を視察【山陽新聞:2018/02/20】

<http://www.sanyonews.jp/article/671950>

■政府、地球温暖化による農作物や健康への被害などを軽減するための新法案「気候変動適応法案」を閣議決定(2月20日)。地域の状況に応じた「地域気候変動適応計画」の策定を地方自治体の努力義務とするほか、政府が作る適応計画を法律として位置付けて対策を強化し、進行が避けられない温暖化による被害の軽減を図る。法案は環境相が温暖化の影響を概ね5年毎に評価し、結果を公表すると規定。評価結果を基に政府は適応計画の内容を見直す。国立環境研究所(茨城)を温暖化の影響分析の拠点とする【産経新聞:2018/02/20】

<http://www.sankei.com/politics/news/180220/pl1802200008-n1.html>

■CO₂削減に逆行するパーム油発電拡大。FITバイオマス発電認定量の1/3以上が環境負荷が大きいとされるパーム油発電で

あることに対し、経産省は「想定外」、審議会は「環境影響などの第三者認証が必要」、環境保護団体は対象外とするよう求めている。国連環境計画(UNEP)によると、パーム油を燃焼させると化石燃料よりCO₂排出を減らせるが、パーム油の原料となるアブラヤシの多くは熱帯雨林や湿地の泥炭地を開発して栽培されており、泥炭地破壊でCO₂排出量は20倍増える見積りとのこと。環境省も2010年、バイオ燃料の原料調達から製造、使用、処分などに至る分析(LCA)を行うためのガイドラインで「温室効果ガス削減効果が十分でない可能性がある」燃料としてパーム油を挙げたが、経産省は電力を高く買い取るFITの対象としてパーム油発電を事実上容認。2017年9月末までに認定した「一般木材等バイオマス」の発電出力1,278万kWのうちパーム油を含むものは36%に達した。経産省の審議会・調達価格等算定委員会は、環境への影響を避ける第三者認証が必要であり、具体的には世界自然保護基金(WWF)などによる「持続可能なパーム油のための円卓会議=RSP0」の認証を挙げ、改善を求めている【毎日新聞:2018/02/21】

<https://mainichi.jp/articles/20180221/ddm/013/040/020000c>

■鍛鉄工房・室(滋賀)、針葉樹が燃やせる国産薪ストーブ「Ritsh(リッシュ)」を完成。マツやスギなどの針葉樹は燃焼時間が短く、燃やすと1000℃を超える高温になりストーブを傷めるので燃やさないでくださいというストーブが多いのが現状。そんな中、工房の鍛鉄職人である安川昌樹さんが、1000℃以上の高温に耐えられて長くゆっくり熱を放射する方法を3年がかりで考案し、Ritshを完成させた。「高温に耐えられるよう、厚みのある鋼板で頑丈に作り、内部に溶岩石を組み込むことで蓄熱性を高め、温度を持続させる工夫をしている」とのこと。すべての工程は手作業。アメリカでピューリタンの一宗派シェイカー教徒たちが作りだしたシェイカーストーブをヒントにした台形型のスタイル。Ritshは限定生産、税抜価格で32万円(別途煙突工事費用が必要)【Kokocool:2018/02/21】

<https://www.kokocool-shiga.jp/selection/10>

■長野県長野市、同市内のホテル「鬼無里の湯」に薪ボイラを設置。導入したのはアーク日本(株)の「ガシファイアーTA1200」。出力は60~75kW(52,000~65,000kcal/h)で既存薪ボイラ(350kW)と併用運転する。地域の間伐材から作る薪を約75t/年使用。長野市は2013年度にLLP鬼無里薪ステーションを設立。2014年度に鬼無里の湯に薪ボイラ導入が要望され、

2016 年度に実施設計、2017 年度に設置工事を行い、昨年 12 月 6 日に竣工した【長野市：2018/02/26】

<http://www.city.nagano.nagano.jp/soshiki/kankyo/405785.html>

■（株）リコー（東京）、三重県多気郡多気町や（株）アクアイグニス（東京）と三重県多気郡多気町において 2020 年春開業予定の複合リゾート施設「アクアイグニス多気」のひとつ、「薬草の湯」で消費する温浴用エネルギー供給に関する協定を締結（2 月 26 日）。「アクアイグニス多気」は、産学官連携により地方創生を目指す三重県の観光プラットホーム。その中核施設のひとつである薬草の湯は県内の薬草を活用して季節毎に様々な効能の湯を提供する温浴施設で、リコーが約 2 億円を投じて木質バイオマス熱エネルギープラント（想定出力 800kW）を建設し、木質チップを燃やした時の熱を温水にして薬草の湯に供給。燃料は主に三重県の森林から産出された一般材由来の木質チップ（1,800t/年前後使用を想定）を利用する【（株）リコー、日本経済新聞：2018/02/26】

http://jp.ricoh.com/release/2018/0226_1.html?_ga=2.220594257.890454443.1519912005-2105639064.1519912005

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ027413320W8A220C1L91000/?ct=ga>

■フジサンケイグループが主催する第 27 回「地球環境大賞」の受賞者が決定。大賞は積水ハウス（株）（東京）の「環境・防災・地域活性化に貢献する『東松島市スマート防災エコタウン』の取り組み」。太陽光発電で生じた電力を自営線のスマートグリッドを用いて街全体に供給するという日本初の地産地消モデル。災害などの非常時に電力会社の系統電力が遮断しても、独立した自営線スマートグリッド内でバイオディーゼル非常用発電機や太陽光発電、大型蓄電池を組み合わせることで、最低 3 日間は通常の電力供給が可能とのこと。その他、バイオマス発電を含む様々な再生可能エネルギー発電の開発に取り組む九州電力（株）（福岡）や、「キャッサバパルプからのバイオエタノール生産技術を確立」する事業でサッポロホールディングス（株）（東京）などが受賞している【産経新聞：2018/02/28、フジサンケイビジネスアイ】

<http://www.sankei.com/politics/news/180228/pl1802280003-n1.html>

<http://www.fbi-award.jp/eco/jusyyou/>

■（一社）新エネルギー導入促進協議会（東京）、1 月 25 日に

開催した「平成 29 年度再生可能エネルギー熱利用促進フォーラム」開催結果をホームページで報告。平成 25 年度から推進してきた経産省の補助事業『再生可能エネルギー熱利用高度複合システム実証事業』が最終年度を迎えた中、同実証事業での取り組みの事例発表（9 事例）が行われ、取り組みを通じて明らかになった課題と創意工夫点や対応策、今後の推進方策について議論したとのこと。参加者は企業関係者、自治体関係者、研究者等の 94 人。当日の発表資料を公開中【（一社）新エネルギー導入促進協議会：2018/02/28】

<http://www.nepc.or.jp/topics/2018/0228.html>

■農林中央金庫（東京）、「農中森力（もりぢから）基金」の第 4 回助成案件を決定し、公表。里山林の再生、急傾斜地等における架線集材技術の導入、製材、合板、バイオマス用材等多様な用途への木材安定供給など、それぞれの地域が抱えている特有の課題等を解決し、これまでの取り組みを一步前に進めることにより、地域の中核を担う事業体としての事業実施態勢の整備を目指す事業を選定。40 件の応募の中から 8 案件、合計 1 億 9500 万円分の助成を決定【農林中央金庫：2018/03/02】

https://www.nochubank.or.jp/news/news_release/2018/post-473.html

■千葉県鎌ヶ谷市特産のナシの生産者や JA、市などで設立した「果樹剪定枝等リサイクル事業推進協議会」が、処理に困っていたナシの剪定枝のバイオマス発電用燃料活用を今年度から試行。堆肥の集積場として開設した同市中沢の約 4,300 m²の土地に生産者らが剪定枝を運び込み、専門業者がチップ化した後、市原市にあるバイオマス発電所「市原グリーン電力」に運搬する。今年度の搬入量は計約 78t で、売電額は 94 万 7 千円だった【朝日新聞：2018/03/03】

<https://www.asahi.com/articles/ASL2J420ZL2JUDCB00B.html>

■鶏肉と一緒に電気もお届け。（株）十文字チキンカンパニー（岩手）が、養鶏場から出る大量の鶏ふんを燃料にバイオマス発電に取り組んでいる。7 年前の東京電力福島第一原発事故を契機に岩手県軽米町で鶏ふん発電所を建設し、2016 年に完成。同社と、提携養鶏農家から出る鶏ふんは一日平均 400t。発電量は一般家庭一万世帯分に相当。鶏肉の生産契約を結ぶパルシステムグループの小売電気事業者「パルシステム電力」に全量を売り、首都圏や東北など 11 都県で供給される。契約者には特典として十文字社製のナゲット 900 g も贈られ、「鶏から作ら

れた電気」を実感できる。契約件数は2月末で5,600件。原発や石油等の化石燃料によらない電力を使いたいとのニーズが高まりつつあり、さらなる契約拡大を目指している【東京新聞：2018/03/05】

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/politics/list/201803/CK2018030502000125.html>

■大林組のグループ企業「大林神栖バイオマス発電（株）」（東京）が、茨城県鹿島港の鹿島臨海工業地帯にバイオマス発電所の建設を計画。建設地5万3,597㎡を持つ茨城県は、同社にするバイオマス発電所を2016年に大分で稼働（総投資額80億円）。栃木と和歌山でもそれぞれ約100億円を投じて発電所の稼働を見込む。売上高営業利益率は25%を上回る。バイオマス発電事業に参入する商社や電力会社等大手企業は主に海外から木材チップを大量調達するが、エフオンは国産チップにこだわり、しかも品質の良いチップを安定して確保できる調達網をつくってきたことで、国内有数の事業者に成長。国産チップの供給元である林業の活性化にも乗り出しており、化石燃料や海外チップとの競争が激しくなる時代を見据え林業者と連携し体質強化に取り組んでいる【日本経済新聞：2018/03/06】

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ027658270S8A300C1TJP000/?ct=ga>

■（一社）日本木質バイオマスエネルギー協会（東京）が、国産燃料材の供給拡大に向けた提言をまとめ。バイオマス発電所での燃料材需要が増加する一方、FITの見直しでは調達コスト

13億9,354万円で売却する議案を県議会定例会に提出。3月23日に議案が可決すれば、県は3月か4月に土地を引き渡す予定で、それから原則2年以内の着工、3年以内の完成・供用を事業者に求めている。大林組グループは、中期経営計画2017（計画期間17～21年度）で再生可能エネルギー事業等に1,000億円の投資を打ち出している【建設通信新聞：2018/03/06】

<https://www.kensetsunews.com/archives/164414>

■過去5年間の投資キャッシュフローの支出超過額合計値1位は（株）エフオン（東京）。同社は国産の木材チップを燃料との削減が求められている中、「効率的な燃料材生産システムの確立」、「効率的な素材生産を行いうる事業体の育成」、「地域における燃料材生産実施計画の作成」等、9項目に取り組むべきとしている【林政ニュース第576号：2018/03/07】

■3月7日の午前10時20分頃、秋田県秋田市向浜にあるユナイテッドリニューアブルエナジー（株）の木質バイオマス発電所敷地外にある燃料置き場でボヤが発生。燃料はバイオマス発電の補助燃料として利用しているPKS。社員から119番通報があり、消防車両5台が出動。初期消火活動を行った従業員1名が負傷。同社は被害情報の収集にあたっていているとして、同日速報を発表。一部PKSが焼失したものの物的被害は軽微で、発電所は通常通り稼働しているとのこと【ユナイテッドリニューアブルエナジー（株）、秋田魁新報：2018/03/07】

<http://www.united-re.jp/>

<http://www.sakigake.jp/news/article/20180307AK0026/>

2. ペレット関連情報

■九州電力の完全子会社の九電みらいエナジー（株）（福岡）、山口県下関市でバイオマス発電事業を行うと発表。下関市と、九電みらい、西日本プラント工業（株）（福岡）、九電産業（株）（福岡）の共同出資で設立した下関バイオマスエナジー合同会社（山口県下関市）との間で事業の実施に必要な市所有地を借り受けるための「事業用定期借地権設定契約のための覚書」の調印式を実施（2月20日）。同事業は九電グループが調査・建設、運転・管理までを一貫して実施する国内最大級の木質専焼バイオマス発電事業であり、九電みらいが発電所の運営全般を、西日本プラント工業が設備の建設・保守を、九電産業が運転を担当する。発電所の出力は7万4,980kW、年間発電量は約5億

kWhと一般家庭約14万世帯相当。発電した電力はFIT制度により中国電力（株）（広島）に全量を販売、年間約120億円の収入を見込む。主にタイとカナダから輸入する30万t/年の木質ペレットを燃料に利用。2019年6月に着工し、2022年1月に運転開始する計画【九電みらいエナジー（株）、日本経済新聞：2018/02/20、朝日新聞：2018/02/21】

<http://www.q-mirai.co.jp/news/archives/123>

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ027141310Q8A220C1LX0000/?ct=ga>

<https://www.asahi.com/articles/ASL2N3GD5L2NTZNB009.html>

■バイオマス燃料販売を手掛けるタイのアジア・バイオマス (ABM) が、同国南部スラタニ県でバイオマス発電向けの本質ペレット生産へ【NNA ASIA：2018/02/21】
<https://www.nna.jp/news/show/1728208>

■長野県環境エネルギー課、ホームページにて県内の再生可能エネルギー等施設一覧を公表。「再生可能エネルギー導入状況等調査結果」に掲載されている設備のうち、見学や視察が可能な施設を取りまとめたもの。広域別でも見られるが、「エネルギー種類別一覧」では「発電設備」、「熱利用設備」、「燃料製造設備」別にまとめられたエクセルが閲覧可能。見学や視察の申し込み等は、一覧表中の見学・視察申込窓口まで直接連絡くださいとのこと【長野県環境エネルギー課：2018/02/28】
<http://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/kensei/soshiki/soshiki/kenc/ho/kankyoene/>

■住友重機械工業（株）（東京）、（株）中部プラントサービス（愛知）と共同企業体を設立し、中部電力（株）（愛知）より、バイオマス発電設備（出力：49,000kW）を受注。建設予定地は中部電力（株）四日市火力発電所（三重）構内。循環流動層（CFB）ボイラ（再熱方式）で木質ペレットと PKS を燃料とす

る。2020年4月運転開始予定【住友重機械工業（株）：2018/03/01】
<http://www.shi.co.jp/info/2017/6kgpsq0000003pp0.html>

■「木の駅プロジェクト」をはじめ、木質ペレットの活用や森林環境教育などを手掛ける、NPO 法人バイオマス丹波篠山（兵庫）、2018年3月6日よりクラウドファンディング・プラットフォーム「CAMPFIRE」にて、「八百材舎：里山資源が循環する活用法を提案、発信するプラットフォームをつくりたい！」のプロジェクトを開始。兵庫県篠山市の西紀中地区にある「木の駅ストックヤード」を再整備し、約1.5haのフィールドに「八百材舎（やおざいや）」をこの春オープンさせる。原木丸太や枝・土・薪などの資源を直接買い付けできる他、DIY ワークショップなどのイベントを開催し、次世代の農林業従事者を育成するための環境学習やプログラムなども実施する。篠山産材オンリーで新しいライフスタイルを提案する、「里山資源」の循環活用拠点づくりに取り組む仲間を募集中。目標金額は2,000,000円で、4月29日まで募集する【ValuePress!：2018/03/07、CAMPFIRE】
<https://www.value-press.com/pressrelease/198234>
<https://camp-fire.jp/projects/view/49966>

3. イベント情報（国内）

◎：木質ペレット燃料、ストーブ、ボイラの関連イベント

◆NPO 法人農都会議 バイオマス WG/農都交流・地域支援 G
「2017年経過報告・2018年政策検討会 ～再エネ・森林・バイオマス活用に向けた提言づくり」
月日 2018年3月12日（月）
場所 港区神明いきいきプラザ 4階集会室A（東京都港区）
<http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/192>

◆宮城県「第1回宮城県木質バイオマス活用研修会」
月日 2018年3月12日（月）
場所 TKP ガーデンシティ仙台 ホール 21D（宮城県仙台市）
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-s/h29mokusitu.html>

◆（特非）日本環境倶楽部 環境セミナー「SDGsの達成に向けた企業行動とは」～SDGs 取組み先進企業に学ぶ～

月日 2018年3月12日（月）
場所 株式会社NTT データ エグゼクティブセミナールーム（東京都江東区）
<https://kankyouclub.or.jp/event/1803-1.html>

◆（一社）日本木材学会「第68回日本木材学会大会（京都大会）」
月日 2018年3月14日（水）～16日（金）
場所 京都府立大学下鴨キャンパス、国立京都国際会館（両会場共、京都府京都市左京区）
<http://www.jwrs.org/wood2018/>

◆スマート林業構築コンソーシアム、他 シンポジウム「ICTが拓く林業ビジネスの近未来」

月日 2018年3月15日(木)

場所 東京大学弥生講堂一条ホール(東京都文京区)

http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/news/events/events_z0107_0002_6.html

◆地球環境戦略研究機関(IGES)環境経済政策研究公開シンポジウム「世界のトップランナーへ:脱炭素社会に向けたグリーン税制改革試案」

月日 2018年3月15日(木)

場所 東京国際フォーラム 7階 ホールD7(東京都千代田区)

<https://www.iges.or.jp/jp/smo/20180315.html>

◆(一社)日本プロジェクト産業協議会(JAPIC)第5回「林業復活・地域創生を推進する国民会議」

月日 2018年3月16日(金)

場所 ホテル グランドアーク半蔵門(東京都千代田区)

<http://www.japic.org/information/5.html>

◆国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所平成29年度(後期)森林講座「香るサクラ」

月日 2018年3月17日(土)

場所 多摩森林科学園 森の科学館(東京都八王子市)

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/news/2017/20170906shinrinkouza/index.html>

◆(公財)国際緑化推進センター「森林ビジネスの可能性～持続可能な森林管理とビジネスの両立を目指して～」

月日 2018年3月19日(月)

場所 TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター ホール5C(東京都新宿区)

<https://jifpro.or.jp/event/1352/>

◆環境省「平成29年度廃棄物エネルギーの地域での利活用促進に関する説明会」

月日 2018年3月19日(月)

場所 (関東会場)三鷹産業プラザ703,704,705会議室(東京都三鷹市)

<http://www.env.go.jp/press/104989.html>

◆NPO法人農都会議飯能木質バイオマスエネルギー協議会共同講演会「はんのう塾 第2回、まちエネ大学 飯能スクール報

告会—東京の身近な山村、飯能を知り、都市山村交流と森林・バイオマス活用を考える—

月日 2018年3月19日(月)

場所 港区神明いきいきプラザ4階集会室A(東京都港区)

<http://blog.canpan.info/noutochiiki/archive/250>

◆新社会システム総合研究所「平成30年度税制改正による省エネ再エネ高度化投資促進税制等～省エネ設備・再生可能エネルギー設備の最新税務～」

月日 2018年3月20日(火)

場所 SSK セミナールーム(東京都港区)

<https://expotoday.com/event/12827/>

◆農林水産技術会議「農林水産業イノベーションシンポジウム」

月日 2018年3月20日(火)

場所 農林水産省本館7階講堂(東京都千代田区)

<http://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/180125.html>

◆(公財)国際緑化推進センター「途上国における森林再生技術」普及ワークショップ」

月日 2018年3月20日(火)

場所 文京シビックセンター3階会議室1・2(東京都文京区)

<https://jifpro.or.jp/event/1382/>

◆林野庁近畿中国森林管理局、他「里山広葉樹活用シンポジウム～里山広葉樹のバリューチェーンの構築に向けて～」

月日 2018年3月23日(金)

場所 近畿中国森林管理局4階大会議室(大阪府大阪市)

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/press/sidou/180209.html>

◆ウータン・森と生活を考える会「地元NGOに聞く!ボルネオ島の森林再生と火災のリアル“現場話”」

・月日 2018年3月23日(金)

場所 サラヤ(株)本町ビル5階(大阪府大阪市中央区)

・月日 2018年3月24日(土)

場所 とよなか国際交流センター(大阪府豊中市)

・月日 2018年3月26日(月)

場所 東京ウィメンズプラザ2F(東京都渋谷区)

<http://www.hutangroup.org/contact/eventJ.html>

◎九州薪・木質ペレット活用協議会「暖談の会」

月日 2018年3月24日(土)

場所 阿蘇森林組合東部支所(熊本県阿蘇市波野)

http://www.asoict.jp/info/details.php?int_key=219

◆林野庁「国際森林デー2018 みどりの地球を未来へ～五感でつなげる世界の輪～」

月日 2018年3月24日(土)

場所 木材・合板博物館(東京都江東区)

http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/sanson_ryokka/180202.html

◆(一社)日本森林学会「第129回日本森林学会大会」

月日 2018年3月26日(月)～29日(木)

場所 高知市内および高知大学(高知)

<https://www.forestry.jp/meeting/>

◆ラブ・フォレスト(株)「木質バイオマスを燃料とするマイクログ CHP システム見学会」

月日 ① 2018年4月4日(水) 13:30～15:00

② 2018年4月5日(木) 10:30～12:00

③ 2018年4月5日(木) 13:30～15:00

場所 ラブ・フォレスト ナガノファクトリー(長野県長野市北部工業団地内)

<http://labforest.jp/news/2018/03/chp.html>

◆NPO 法人農都会議「いばらき塾 第2回 茨城を活かそう! 森・里・川フィールドワーク ～山と湖と里ビトの地域・環境教育と協働の場づくりに向けて」

月日 2018年4月7日(土)

場所 (株)つくば林業 恋瀬オフィス(茨城県石岡市)

<http://blog.canpan.info/noutochiiki/archive/254>

◆岩手・木質バイオマス研究会第11回定例セミナー「紫波町内における薪利用者の動向」

月日 2018年4月13日(金)

場所 岩手県立大学「アイーナキャンパス」学習室1(岩手県民情報交流センター「アイーナ」7F)(岩手県盛岡市)

<https://wbiwate.jimdo.com/%E3%82%A4%E3%83%99%E3%83%B3%E3%83%88%E6%83%85%E5%A0%B1/>

◆兵庫県森林大学校「森林セラピー体験会」

月日 2018年4月13日(金)

場所 兵庫県立国見の森公園(集合は山麓施設の交流館)(兵庫県宍粟市)

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/cs01/rindai/kennsyuuka/shinrinserapi.html>

◆バイオマス産業社会ネットワーク(BIN)第174回研究会「宮城県南三陸町でのバイオガス事業と第二のコミュニティづくりについて(仮題)」

月日 2018年4月17日(火)

場所 地球環境パートナーシッププラザ(東京都渋谷区)

<http://www.npobin.net/apply/>

◆企画展「くまのもの 隈研吾とささやく物質、かたる物質」

開催期間 2018年3月3日(土)～5月6日(日)

場所 東京ステーションギャラリー(東京都千代田区)

<https://gqjapan.jp/life/news/20180208/kengo-kuma-a-lab-for-materials/page/6>

◎リード エグジビション ジャパン「第2回関西次世代農業EXPO～植物工場・ITなどの最新技術展～」

月日 2018年5月9日(水)～11日(金)

場所 インテックス大阪(大阪府大阪市住之江区)

<http://www.agri-next.jp/kansai/>

◆林野庁第28回森と花の祭典ー「みどりの感謝祭」式典併催行事「みどりとふれあうフェスティバル」

月日 2018年5月12日(土)～13日(日)

場所 日比谷公園にれのき広場等(東京都千代田区)

http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/sin_riyou/180202.html

◎CMT「9th Biomass Pellets Trade & Power 第9回バイオマス・ペレット会議～貿易と発電～」

月日 2018年5月14日(月)～17日(木)

場所 東京マリオットホテル(東京都品川区)

<http://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=180501&>

◆日報ビジネス(株)「2018NEW 環境展(N-EXPO 2018)/地球温暖化防止展」

月日 2018年5月22日(火)～25日(金)

場所 東京ビッグサイト 有明 東展示棟 (東京都江東区)

https://www.nippo.co.jp/n-expo018/ne18_b.htm

◎バイオマスエキスポ実行委員会「バイオマスエキスポ 2018」

月日 2018年5月30日(水)～6月1日(金)

場所 東京ビッグサイト東ホール (東京都江東区)

<https://www.biomasseexpo.info/expo/%E3%83%90%E3%82%A4%E3%82%AA%E3%83%9E%E3%82%B9%E3%82%A8%E3%82%AD%E3%82%B9%E3%83%9D2018/>

◆岐阜県「ぎふの木フェスタ 2018」

月日 2018年6月9日(土)～10日(日)

場所 岐阜メモリアルセンター「芝生広場」(岐阜県岐阜市)

http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/shinrin/mokuzai-sangyo/11545/gifunoki_boshu.html

◆森の映像祭実行委員会「森の映像祭」(みどり・森林・山村

振興 映像祭) 上映会

月日 2018年6月16日(土)

場所 木材・合板博物館 (東京都江東区)

<http://morinoeizo.com/archives/13>

◆リードエグジビションジャパン(株)「関西スマートエネルギーWeek 2018」

月日 2018年9月26日(水)～28日(金)

場所 インテックス大阪 (大阪府大阪市住之江区)

<http://www.wsew.jp/>

◎リードエグジビションジャパン(株)「関西スマートエネルギーWeek 2018内『第3回 関西バイオマス発電展』」

月日 2018年9月26日(水)～28日(金)

場所 インテックス大阪 (大阪府大阪市住之江区)

<http://www.bm-kansai.jp/ja/Home/>

◆世界循環経済フォーラム 2018

月日 2018年10月22日(月)～23日(火)

場所 パシフィコ横浜国際会議場 (神奈川県横浜市)

<http://www.env.go.jp/press/105046.html>

◆リードエグジビションジャパン(株)「第4回国際バイオマス発電展」

月日 2019年2月27日(水)～3月1日(金)

場所 東京ビッグサイト (東京都江東区)

<http://www.bm-expo.jp/>

4. イベント情報 (海外)

◆ENERGY STORAGE EUROPE

月日 2018年3月13日(火)～15日(木)

場所 ドュッセルドルフ (ドイツ)

<https://www.energy-storage-online.com/>

◎BIE BIOMASS INNOVATION EXPO

月日 2018年3月13日(火)～16日(金)

場所 ミラノ (イタリア)

<http://www.bie-expo.it/en/Home/>

◎BOIS ENERGIE 2018

月日 2018年3月15日(木)～18日(日)

場所 グルノーブル (フランス)

<http://www.boisenergie.com/>

◆Carbon Capture, Utilization & Storage Conference

月日 2018年3月19日(月)～22日(木)

場所 テネシー州ナッシュビル (USA)

<http://www.ccusconference.com/>

◆WORLD BIO MARKETS

月日 2018年3月20日(火)～22日(木)

場所 アムステルダム (オランダ)

<https://www.biobasedworldnews.com/events/world-bio-markets>

◆HOLZ-HANDWERK 2018

月日 2018年3月21日(水)～24日(土)

場所 ニュルンベルク (ドイツ)

<https://www.holz-handwerk.de/en>

◆2018 Value of Biogas East Conference

月日 2018年3月22日(木)～23日(金)

場所 ケベック州ガティノー(カナダ)

https://biogasassociation.ca/value_of_biogas_conference/vob_2018_east

◎VICTAM ASIA 2018

月日 2018年3月27日(火)～29日(木)

場所 バンコク(タイ)

<https://victamasias.com/>

◆Energy Efficiency and Renewables 14th Exhibition & Conference for South-East Europe

月日 2018年3月27日(火)～29日(木)

場所 ソフィア(ブルガリア)

<https://viaexpo.com/en/pages/ee-re-exhibition>

◆9th Waste Management & Recycling South-East European Exhibition

月日 2018年3月27日(火)～29日(木)

場所 ソフィア(ブルガリア)

<https://viaexpo.com/en/pages/waste-management-recycling-exhibition>

◆GASIFICATION 2018

月日 2018年3月28日(水)～29日(木)

場所 フランクフルト(ドイツ)

<http://www.wplgroup.com/aci/event/gasification/>

◆Propellet PROGRAMME DE FORMATION La combustion des granulés de bois dans les appareils de chauffage

月日 2018年4月4日(水)

場所 シャンベリ(フランス)

http://www.propellet.fr/templates/propellet/file_upload/files/Programme%20Formation%20combustion%2004042018.pdf

◆the fifth Wood Bioenergy Conference & Expo

月日 2018年4月11日(水)～12日(木)

場所 ジョージア州アトランタ(USA)

<http://www.bioenergyshow.com/>

◆BBS 2018 The 6th China International Bioenergy and Biomass

Utilization Summit

月日 2018年4月12日(木)～13日(金)

場所 上海(中国)

<http://www.bbs-summit.com/en/>

◎11th Annual International Biomass Conference & Expo

月日 2018年4月16日(月)～18日(水)

場所 ジョージア州アトランタ(USA)

<http://www.biomassconference.com/ema/DisplayPage.aspx?pageId=Home>

◆BIOGAS ASIA PASIFIC FORUM 2018

月日 2018年4月16日(月)～19日(木)

場所 クアラルンプール(マレーシア)

<http://www.icesn.com/>

◎Argus Biomass 2018

月日 2018年4月17日(火)～19日(木)

場所 ロンドン(UK)

<http://www.argusmedia.com/events/argus-events/europe/argus-euro-biomass/home/>

◆RENEXPO® WATER & ENERGY Western Balkans

月日 2018年4月24日(火)～26日(木)

場所 ベオグラード(セルビア)

<http://renexpo-belgrade.com/sr/home-page-rs/?id=7&L=1>

◆5th Africa Oil Palm & Rubber Summit

月日 2018年4月25日(水)～26日(木)

場所 アクラ(ガーナ共和国)

<http://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=180407&>

◆8th European Algae Industry Summit

月日 2018年4月25日(水)～26日(木)

場所 ウィーン(オーストリア)

<http://www.wplgroup.com/aci/event/european-algae-industry-summit/>

◆7th Annual Platts Geneva Biofuels Conference

月日 2018年4月26日(木)

場所 ジュネーブ(スイス)

<https://www.platts.com/events/emea/eu-biofuels/index>

◆All-Energy Exhibition and Conference 2018

月日 2018年5月2日(水)～3日(木)

場所 グラスゴー(イギリス)

www.all-energy.co.uk

◆ICCI 2018 : 24th International Energy & Environment Fair & Conference

月日 2018年5月2日(水)～4日(金)

場所 イスタンブール(トルコ)

<http://www.icci.com.tr/en>

◆5th International Conference on Renewable Energy Gas Technology, REGATEC 2018

月日 2018年5月3日(木)～4日(金)

場所 トゥールーズ(フランス)

<http://regatec.org/>

◆RoEnergy South-East Europe

月日 2018年5月9日(水)～11日(金)

場所 ブカレスト(ルーマニア)

<http://bucuresti.roenergy.eu/>

◎EUBCE 2018 26th European Biomass Conference & Exhibition

月日 2018年5月14日(月)～18日(金)

場所 コペンハーゲン(デンマーク)

<http://www.eubce.com/home.html>

◆IFAT World's Leading Trade Fair for Water, Sewage, Waste and Raw Materials Management

月日 2018年5月14日(月)～18日(金)

場所 ミュンヘン(ドイツ)

<https://www.ifat.de/index-2.html>

◆Oleofuels 2018

月日 2018年6月6日(水)～7日(木)

場所 ヘルシンキ(フィンランド)

<http://www.wplgroup.com/aci/event/oleofuels/>

©Argus Biomass Asia 2018

月日 2018年6月6日(水)～7日(木)

場所 シンガポール(シンガポール)

<http://www.argusmedia.com/asia-biomass/>

◆Expo Biogaz

月日 2018年6月6日(水)～7日(木)

場所 ストラスブール(フランス)

<https://www.expo-biogaz.com/en/the-exhibition>

◆ASEAN SUSTAINABLE ENERGY WEEK

月日 2018年6月6日(水)～9日(土)

場所 バンコク(タイ)

<http://www.asew-expo.com/Home.aspx>

◆Advanced Biofuels Conference

月日 2018年6月11日(月)～13日(水)

場所 ネブラスカ州オマハ(USA)

<http://www.advancedbiofuelsconference.com/ema/DisplayPage.aspx?pageld=Home>

◆2018 International Fuel Ethanol Workshop & Expo

月日 2018年6月11日(月)～13日(水)

場所 ネブラスカ州オマハ(USA)

<http://www.fueethanolworkshop.com/ema/DisplayPage.aspx?pageld=Home>

◆UK AD and World Biogas Expo 2018

月日 2018年7月11日(水)～12日(木)

場所 バーミンガム(UK)

<http://adbioresources.org/biogastradeshow/>

◆POWER-GEN AFRICA

月日 2018年7月17日(火)～19日(木)

場所 ヨハネスブルグ(南アフリカ共和国)

<http://www.powergenafrika.com/index.html>

◆The 7th Asia-Pacific Biomass Energy Exhibition (APBE 2018)

月日 2018年8月16日～18日

場所 広州市(中国)

<http://www.apbechina.com/index.php?lang=en>

◆クラーゲンフルター・ホルツメッセ木材展示会
月日 2018年8月29日(水)～9月1日(土)
場所 ケルンテン州クラーゲンフルト市(オーストリア)
<http://www.forestrise.jp/KLAGENFURT/>

◎Advanced Biofuels Conference
月日 2018年9月18日(火)～20日(木)
場所 ヨーテボリ(スウェーデン)
<https://www.svebio.se/en/events/advanced-biofuels-conference/>

◆ASIA POWER WEEK
月日 2018年9月18日(火)～20日(木)
場所 ジャカルタ(インドネシア)
<http://www.asiapowerweek.com/en/index.html>

◎USIPA's EXPORTING PELLETS CONFERENCE
月日 2018年10月8日(月)～10日(水)
場所 イリノイ州シカゴ(USA)
<http://www.usipaconference.com/conference/announcement>

◆The 10th PALMEX Indonesia 2018
月日 2018年10月9日(火)～11日(木)
場所 メダン(インドネシア)
<http://www.palmoilexpo.com/>

◆International Biogas Congress & Expo
月日 2018年10月11日(木)～12日(金)
場所 ベルリン(ドイツ)
http://www.bioenergy-news.com/conference/biogas/biogas_index.php

◎International Biomass Congress & Expo
月日 2018年10月11日(木)～12日(金)
場所 ベルリン(ドイツ)
http://www.bioenergy-news.com/conference/biogas/biogas_index.php

◆Biofuels International Conference & Expo
月日 2018年10月11日(木)～12日(金)

場所 ベルリン(ドイツ)
http://www.bioenergy-news.com/conference/biogas/biogas_index.php

◆IBBK Biogas : Science Meets Practice, international conference with trade exhibition and excursion 'Progress in the treatment and use of manure and digestate'
月日 2018年10月16日(火)～17日(水)
場所 シュヴェービッシュ・ハル(ドイツ)
<http://www.ibbk-biogas.de/en-gb/schedule>

◆International Power Industry, Energy Efficiency, Infrastructure and Environmental Technology Fair
月日 2018年10月19日～21日
場所 リガ、キプサラ地区(ラトビア共和国)
<http://www.bt1.lv/ee/eng/>

◆ECOMONDO
月日 2018年11月6日(火)～9日(金)
場所 リミニ(イタリア)
<https://en.ecomondo.com/>

◆European Biomass to Power
月日 2018年11月7日(水)～8日(木)
場所 スtockホルム(スウェーデン)
<http://www.wplgroup.com/aci/event/european-biomass-to-power/>

◆HEATEC Shanghai International Exhibition on Heating
月日 2018年11月28日(水)～30日(金)
場所 上海(中国)
<https://www.heatecchina.com/Heatec17/Home/lang-eng/Information.aspx>

◆ALGAEUROPE 2018
月日 2018年12月4日(火)～6日(木)
場所 アムステルダム(オランダ)
<http://algaeurope.org/>

5. 公募等情報（締切順）

◇経産省「平成 30 年度地球温暖化対策における国際機関等連携事業委託費（地球温暖化対策技術の分析・評価に関する国際連携事業）に係る入札可能性調査について」

公募期間 2018 年 2 月 22 日（木）～3 月 14 日（水）

<http://www.meti.go.jp/information/publicoffer/kobo/k180222003.html>

◇経産省「平成 30 年度地球温暖化問題等対策調査（地球温暖化問題を巡る国際動向調査（気候変動枠組条約（UNFCCC）に係る入札可能性調査について）」

公募期間 2018 年 2 月 22 日（木）～3 月 14 日（水）

<http://www.meti.go.jp/information/publicoffer/kobo/k180222002.html>

◇経産省資源エネ庁「平成 30 年度微細藻類を活用したバイオ燃料生産のための実証事業費補助金」に係る補助事業者の公募について

公募期間 2018 年 2 月 26 日（月）～3 月 27 日（火）

http://www.enecho.meti.go.jp/appli/public_offer/1802/180226b/

◇北海道下川町「ローカルベンチャー『シモカワベアーズ』始動、地域での起業家・後継者を募集！」

募集期間 2018 年 1 月 31 日（水）～3 月 31 日（日）

<https://www.zaikai.co.jp/releases/583178/>

◇福岡県福岡市「エコ発する事業補助金 ～皆さんの環境活動を支援します～」

申請期間

【ステップアップ】2018 年 4 月 2 日（月）～4 月 17 日（火）

【ビギナー】2018 年 4 月 2 日（月）～7 月 31 日（火）

【U-30】2018 年 4 月 2 日（月）～7 月 31 日（火）

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/k-seisaku/hp/kyouiku-shien/ecohatu.html>

◇森の映像祭実行委員会「森の映像祭（みどり・森林・山村振興 映像祭）」作品募集

募集期間 2018 年 3 月 7 日（水）～5 月 7 日（月）

<http://morinoeizo.com/>

◇中小企業庁 平成 30 年度予算「戦略的基盤技術高度化支援事業」（予告）

公募予定 2018 年 3 月中下旬～5 月中下旬

<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/2018/180216mono.htm>

◇オーストリア大使館商務部「クラゲンフルター・ホルツメッセ木材展示会 2018（8/28～9/1）」での日本からの出展企業を募集

出展募集締切 2018 年 5 月 31 日（木）

<http://www.forestrise.jp/KLAGENFURT/>

◇京都府「自立型再生可能エネルギー導入等計画の認定及び導入支援制度」

計画認定申請期間 2015 年 10 月 1 日（木）～

<http://www.pref.kyoto.jp/energy/documents/ninteiseidogaiyou.pdf>

◇東京都「東京都区市町村との連携による地域環境力活性化事業」

事業期間 2014 年度～2023 年度までの 10 年間

http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy_others/municipal_support/current.html

◇新潟県柏崎市「柏崎市 EC02 プロジェクト」

<http://www.city.kashiwazaki.lg.jp/ondan/machi/kankyo/eco2/ondanka.html>

◇高知県香南市「香南市燃料タンク対策事業費補助金」

http://www.city.kochi-konan.lg.jp/reiki_int/reiki_honbun/r254RG00001291.html

◇栃木県「栃木県環境保全資金（省エネ設備等の導入）」

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/eco/kankyou/ondanka/syouene-setubi-yuusi.html>

※融資制度

◇徳島県「自然エネルギー立県とくしま推進資金」

<http://www.pref.tokushima.jp/docs/2010112200159/files/H29yuushi.pdf>

※融資制度

◇資源エネルギー庁「グリーン投資減税」

http://www.enecho.meti.go.jp/category/others/green_tax/greensite/green/index.html

◇NEDO「「バイオマスエネルギーの地域自立システム化実証事業／バイオマスエネルギー導入に係る技術指針・導入要件の策定に関する検討、事業性評価(FS)、実証事業及び技術開発事業」に係る公募について（予告）」

http://www.nedo.go.jp/koubo/FF1_100223.html

※公募開始予定日：平成 30 年 4 月中旬

◇NEDO「平成 30 年度「ベンチャー企業等による新エネルギー技術革新支援事業」に係る公募について（予告）」

http://www.nedo.go.jp/koubo/CA1_100176.html

※公募開始予定日：平成 30 年 4 月上旬